

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 1月11日(木) 14280号



株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号
TEL: 06-6353-7831
FAX: 06-6353-7832
MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.jp
WEB: <https://homenikkankinzoku.jp/>

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
6か月 38,880円 6か月 46,200円

関西銅業界合同年賀交歓会

23年生産減も「緩やかな成長」へ 300人が参加

2024年関西銅業界合同年賀交歓会が9日、大阪市中央区のホテルニューオータニ大阪で開かれ、加盟団体・企業等の約300人が参加した。冒頭、元旦早々からの能登半島北陸震災の犠牲者を悼んで黙とう。年頭の辞で一般社団法人日本伸銅協会の宮崎庄司会長(神戸製鋼所執行役員)は、2023年の伸銅品生産を前年比約1割減としながらも、24年は緩やかに成長するとの見通しを述べた。宮崎会長の「新年の挨拶」は別項の通り。

交歓会主催団体は、同協会、大阪伸銅品問屋組合、京都伸銅品問屋組合、産銅各社、日本地金問屋組合大阪支部、関西非鉄リサイクル協同組合。

来賓の挨拶に立った近畿経済産業局の河上康裕・産業部次長は人手不足対応などにふれたあと、「関西を元気にしていくという点で、大阪・関西万博はきょう460日前となり、会場内(の建設)はほぼめどが立っていると聞いている。2800万人の来場が見込まれるため、この効果を関西



全体に波及していくため、近畿経済産業局としても関係自治体とも手を組んで様々なイベントを実施している」と述べている。

続いて産銅各社を代表し、バン・パシフィック・カッパーの有馬浩幸・大阪支店長が挨拶。乾杯は控え、大阪伸銅品問屋組合の久野実理事長(久野産業社長)が「ご安全に」と発声し、新年の懇親会に入った。

また、1月5日には、伸銅協会と東京都伸銅品商業組合、東京非鉄金属商工協同組合の2024年三銅業合同年賀交歓会が東京都文京区のホテル椿山荘で開催された。

新年の挨拶

(一部省略)

一般社団法人 日本伸銅協会
会長

宮崎庄司



皆様、明けましておめでとうございます。

まず初めに、年初に発生いたしました令和6年能登半島地震でお亡くなりになられました方々へお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様方に対し、心よりお見舞い申し上げます。合わせて、被災地の1日も早い復興復旧がなされますよう祈念申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、長らくロシアによるウクライナ侵略、イスラエル・ハマス紛争など地政学的な不安定さが物価に影響し、世界的なエネルギー価格、原材料価格の高騰が依然として続いた年でした。

一方、コロナ禍からの制限が緩和されたこともあり、サービス業などがけん引する「事(コト)消費」からの緩やかな景気持ち直しも見受けられました。

しかし、残念ながら物(モノ)消費の拡大による製造業の回復には至りませんでした。世界的な景気低迷もありますが、やはり中国の景気回復が期待通りに進まなかったことが大きな要因と考えます。

私どもの伸銅品需要においても、物(モノ)消費が進まなかったことに加え、一昨年前に積み上がった在庫調整に時間を要したことなどから大変な苦戦を強いられた年でありました。

その結果、2023年暦年の伸銅品生産は、各需要先の多くが回復には至らず主要品種が減少したことから、昨年9月に策定した改定見通しとほぼ変わらず、対前年約1割減の24万トン程度となる見通しです。

一方、2024年の伸銅品の需要についてですが、板条製品は、昨年後半より日系をはじめとしたグローバルでの自動車生産台数の増加に伴い、部品需要の回復が着実なものになり始めていることから自動車関連用途の端子コネクタ材が回復基調にあります。また、半導体用途材は、低迷していた民生向けにも底打ち感がみられ、日本を始め、世界各地での半導体生産工場の投資計画が進捗していることも踏まえると、2024年半ば(次ページへ)

からの回復が期待されます。

銅管については、ルームエアコンが昨年の猛暑による在庫消化が進んだことや、大型物件の着工の進展によりパッケージエアコンについても今後の拡大が期待されます。黄銅棒については、建築着工の人手不足や住宅着工低調の影響もありますが、今後は緩やかな回復が期待されます。

日本伸銅協会が昨年秋にまとめました中期需要見通しにおいては、板条製品分野では来るべき社会でのニーズから一貫した伸びを見込んでいるほか、銅管や黄銅棒もインフラ整備の必要から回復基調をたどり、持続可能な社会に向けた各種投資関連の新規需要立ち上がり期待されることから、伸銅品全体は製造業全体と連動して緩やかに成長すると予想しております。

こうした中、2050年のカーボンニュートラルに向けて、地球環境問題にも取り組んでいくことが重要です。日本伸銅協会では、カーボンニュートラル行動計画における2030年目標の見直しも行き、2013年度比で約33%のCO2排出量削減を掲げており、昨年は目標に対しての達成率は47%でありました。日本伸銅協会としては、引き続き会員企業の目標達成に向けた努力を後押ししていく所存です。

また、サーキュラエコノミーについては、本年度の事業として実施しているマテリアルフロー調査をしっかりと実施して、その結果を踏まえて更なるリサイクル原料確保に向けた対応を行っていきたく思っております。

伸銅品を取り巻く環境は、製品の軽薄短小化の進展、中国をはじめ近隣の伸銅業の技術水準の向上、原料高騰による他素材との競合等厳しく、これらの課題に対し、銅の持っている特性を活かし、優位性を高く認めてもらえることが重要なことであると認識しております。

そのため、日本伸銅協会では日本銅学会の支援を通じて、銅の優位性を高めるための産学連携の研究を一層推進してまいります。

今年から、我々は、いわゆる「物流の2024年問題」に直面致します。昨年末に作成し、経済産業省にも提出した「伸銅業界における物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画」を踏まえて、しっかりと対応をしていきたいと思いますが、想定外のことが発生するかもしれません。その場合でも業界として問題点を抽出し、対応策について協議し、必要があれば自主行動計画に反映するなどして対応していきたいと考えています。

昨年8月、ご就任の挨拶のため、経済産業省製造産業局長の伊吹様を訪問させて頂き、伸銅業におけるリサイクル原料の海外流失問題やエネルギー価格の高騰による電力料金問題を始め伸銅業界の抱える課題についてご説明をさせて頂きました。

今後も協会としては、政策立案に役立つ情報を提供させて頂きますので、ご対応をよろしくお願いいたします。

新型コロナ禍以降この4年で市場は急激に変化致しましたが、更なる変化も予想される所です。

このような変化にも対応し、先ほどの課題にも対応をしていくには、今後も伸銅品の価値(VALUE)をいかに向上させるかが重要です。そのためには我が国の伸銅品の特徴である「高性能かつ高品質で、魅力のある製品」を引き続き提供していくことに他なりません。

そのためには、流通業界及びリサイクル業界を初めとする関係業界のご理解とご協力を頂くと共に、関係官庁のご支援が必要なことは言うまでもありません。引き続き皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

今年の干支は辰年ですが、2024年は、甲辰(きのえ・たつ)であり、「これまでのコツコツと蓄えられた学びが芽を出し、活力に満ちた草木のようにすくくと伸びて、努力が花を咲かせる」といった縁起の良い年とされています。是非とも、これにあやかって、大きな成長を遂げられる一年となることを祈念しております。



銅建値は1万円引き下げの124万円

1月の月内建値平均は124万1,500円

JX金属は10日、電気銅建値を1万円引き下げの124万円と発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は124万1,500円。

10日に入電した直近のLME銅相場前場売値が8,301.50ドル。10日の東京市場の米ドルTTSレートは145.69円。この値で換算した採算価格は、120万9,400円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万600円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2023年

8月	1310(1)	1270(3)	1260(8)	1250(15)	1260(22)	1270(25)	平均1266.0
9月	1280(1)	1300(6)	1280(8)	1290(14)	1270(20)	1260(26)	平均1277.8
10月	1280(2)	1240(4)	1220(6)	1230(12)	1240(19)	1250(25)	平均1241.5
11月	1270(1)	1280(7)	1270(10)	1290(16)	1300(27)		平均1283.1
12月	1300(1)	1270(6)	1250(8)	1230(14)	1250(18)	1280(20)	平均1267.3

2024年

1月	1250(4)	1240(10)					平均1241.5
----	---------	----------	--	--	--	--	----------



黄銅削粉買値は10円引き上げの871円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は10日、黄銅削粉買値を10円引き下げの871円と発表した。

今月2回目の改定。2024年1月の月内買値平均は872.6円。



亜鉛建値は9,000円引き上げ
42万1,000円

1月の月内建値平均は42万2,400円

三井金属鉱業は10日、電気亜鉛建値を9,000円引き下げの42万1,000円にすると発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は42万2,400円。

10日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は2,503.00ドル。10日の東京市場の米ドルTTSレートは145.69円。この値で換算した採算価格は、36万4,600円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万6,400円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2023年

8月… 427(1) 415(4) 418(10) 388(17) 403(28) 平均406.4



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中 1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷 1-11-5
電話 06-6561-7331~2

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶
www.kimura-metal.co.jp



大阪市大正区

木村金属株式会社
06-6552-7840

9月…	412(1) 421(6) 415(11) 430(14) 436(21) 439(26)	平均426.4
10月…	457(2) 424(5) 421(11) 418(17) 421(23) 427(26)	平均427.1
11月…	424(1) 448(7) 457(10) 454(15) 448(20) 439(27)	平均444.7
12月…	427(1) 415(6) 403(11) 406(14) 430(19) 427(22)	平均418.5
2024年		
1月…	430(4) 421(10)	平均422.4



銅合金地金標準販売価格を決定

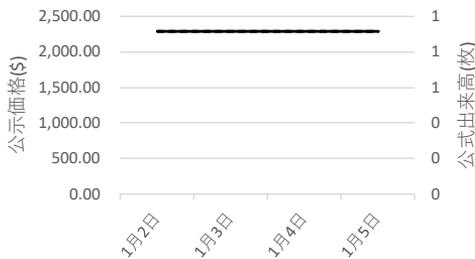
近畿青銅会

近畿青銅会は1月の銅合金地金標準販売価格を発表した。各種品目の標準販売価格は次の通り(単位：キロ当たり円、カッコ内は前回比)。

◇青銅BC1種	1,285円 (▲15)
◇青銅BC2種	1,585円 (▲15)
◇青銅BC3種	1,655円 (▲20)
◇青銅BC6種	1,395円 (▲20)
◇青銅BC7種	1,490円 (▲15)
◇黄銅YBC3種	1,130円 (▲20)
◇鉛青銅LBC3種	1,585円 (◎5)
◇りん青銅PBC2種	1,685円 (▲15)

LME公式値週間推移 1月2日~1月5日(現地)

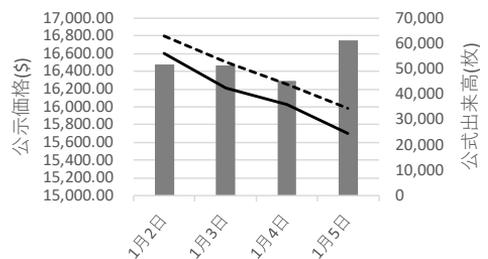
LME北米特殊アルミ合金



	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日
出来高	0	0	0	0
直物	2,285.00	2,285.00	2,285.00	2,285.00
先物	2,285.00	2,285.00	2,285.00	2,285.00

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LMEニッケル



	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日
出来高	51,894	51,457	45,231	61,037
直物	16,600.00	16,210.00	16,025.00	15,705.00
先物	16,800.00	16,500.00	16,250.00	15,985.00

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

故銅市況



10日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,295.00ドルより6.50ドル高の8,301.50ドル。直物の終値は、前営業日の8,339.69ドルより76.29ドル安の8,263.40ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,402.50ドルより5.00ドル高の8,407.50ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,448.00ドルより78.50ドル安の8,369.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の3月限は、前営業日の381.00セントより5.15セント安の375.85セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の2月限は、前営業日の6万8,240元より70元安6万8,170元。

10日の東京為替市場TTSレートは、前日の144.98円より0.71円の円安ドル高、1ドル=145.69円。10日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,301.50ドル。この値と10日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の124万円より7,000円高の124万7,000円。この日、電気銅建値は124万円に引き下げられた。

為替動向

9日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0050ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0910ドル~1.0920ドルで推移した。米国の長期金利水準切り上げを受け、米欧の金利差を意識した

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (1月前半)

2S=191円~212円、63S=176円~227円、アルミホイール(1P)=193円~207円、ビス付サッシ=91円~100円、エンジンコロ=92円~104円、込合金(機械鋳物)=92円~100円、缶プレス(ソフト)=62円~72円。

関西地区 (1月前半)

2S=205円~217円、63S=207円~242円、印刷版=202円~207円、アルミホイール(1P)=198円~241円、ベースメタル=126円~131円、機械鋳物=87円~91円、ダライ粉=104円~107円、ビス付サッシ=92円~117円、缶プレス=75円~80円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(1月10日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1078~1083、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1043~1048、並銅は1008~1018、込銅(高品位=約97%)は998、セバは695~700。コーベルは要り用筋で636、それ以外は621ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋646、それ以外616~626どころの値頃。並青銅鋳物削粉は882~887どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1058~1078、上銅新くずが1023~1043、普通上銅が998~1018、2号銅線が990~1010、並銅が988~1008、込銅(94-97%)が936、込銅(90-93%)が938、下銅が480~530、セバが660~695、コーベルが576~621、黄銅棒材が571~616、黄銅削粉が566~611、黄銅ラジが531~539、交叉ラジが584~641、黄銅鋳物が563~570、送りが337~356、上青銅鋳物が879~899、並青銅鋳物が859~874、上青銅鋳物削粉が874~894、並青銅鋳物削粉が849~869どころ。

ユーロ売りドル買いが出た。英ポンドも対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0040ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2700ドル~1.2710ドルで推移した。

9日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反落した。前日と比べ0.25円の円安ドル高、1ドル=144.40円~144.50円で取引を終えた。米国の長期金利は4.0%台に水準を切り上げており、早期利上げ観測が後退し円売りドル買いを促した。

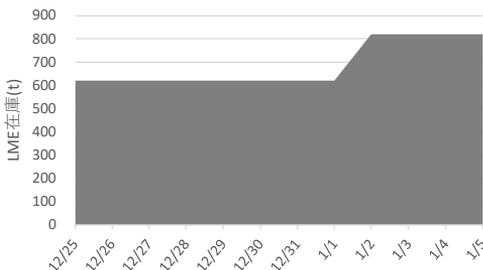
10日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.34円の円安ドル高、1ドル=144.40円~144.43円で推移した。FRBによる早期の利下げ観測が後退、円売りドル買いが優勢になった。ただ、11日には米国の23年12月CPIの発表を控えており積極的に持ち高を動かす取引は見送られていた。円は対ユーロでも小幅ながら下落。8時30分、前日17時と比べ0.02円の円安ユーロ高、1ユーロ=157.86円~157.88円で推移したと、だった。ユーロは対ドルで下落し、8時30分時点は1ユーロ=1.0931~32ドルと同0.0025ドルのユーロ安・ドル高だった。



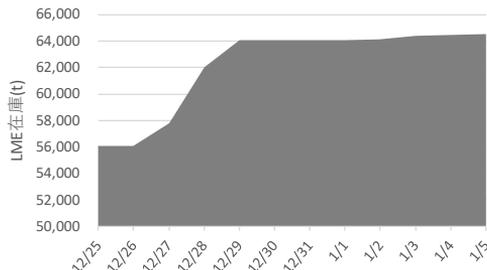
LME認定倉庫在庫推移

12月25日~1月5日(現地)

北米特殊



ニッケル





LME銅相場は小反発 直物終値は8,263.40ドル
 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場はまちまち
 LME非鉄相場はまちまち 直物終値は亜鉛2,478.75ドル、アルミ2,204.24ドル



10日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月9日入電の8,295.00ドルより6.50ドル高の8,301.50ドル。7営業日ぶりの反発で0.08%高。この週0.54%の下落。1月に入って2.06%の下落。3か月物の前場売値は、1月9日入電の8,402.50ドルより5.00ドル高の8,407.50ドル。7営業日ぶりの反発で0.06%高。この週0.50%の下落。1月に入って2.01%の下落。LME公認倉庫の現地1月8日銅在庫は、5日の16万1,725トンより1,175トン減の16万0,550トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月9日入電の379.95セントより5.10セント安の374.85セント。反落して1.34%安。この週1.21%の下落。1月に入って3.40%の下落。2月限は、1月9日入電の380.25セントより5.15セント安の375.10セント。反落して1.35%安。この週1.24%の下落。1月に入って3.40%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、1月限が、1月9日入電の6万8,290元より80元高の6万8,370元。7営業日ぶりの反発で0.12%高。この週0.15%の下落。1月に入って1.01%の下落。中心限月に当たる2月限は、1月9日入電の6万8,240元より70元安の6万8,170元。7営業日の続落で1.91%安。この週0.26%下落。1月に入って1.16%の下落。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月9日入電の2万4,400.00ドルより100.00ドル安の2万4,300.00ドル。反落して0.41%安。この週0.41%の上伸。1月に入って3.48%の下落。3か月物の前場売値は、1月9日入電の2万4,600.00ドルより115.00ドル安の2万4,485.00ドル。反落して0.47%安。この週0.14%の上伸。1月に入って3.98%の下落。LME公認倉庫の現地1月8日錫在庫は、5日の7,450トンより5トン減の7,445トン。

鉛は続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月9日入電の2,030.00ドルより3.00ドル高の2,033.00ドル。3営業日の続伸で1.04%高。この週0.44%の上伸。1月に入って0.10%の上伸。3か月物の前場売値は、1月9日入電の2,061.00ドルより6.00ドル高の2,067.00ドル。3営業日の続伸で1.08%高。この週0.58%の上伸。1月に入って0.05%の下落。LME公認倉庫の現地1月8日鉛在庫は、5日の12万6,400トンより1,475トン減の12万4,925トン。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月9日入電の2,486.00ドルより17.00ドル高の2,503.00ドル。6営業日ぶ

りの反発で0.68%高。この週0.44%の下落。1月に入って5.21%の下落。3か月物の前場売値は、1月9日入電の2,512.00ドルより16.00ドル高の2,528.00ドル。6営業日ぶりの反発で0.64%高。この週0.47%の下落。1月に入って4.75%の下落。LME公認倉庫の現地1月8日亜鉛在庫は、5日の21万8,375トンより1,575トン減の21万6,800トン。

アルミは続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月9日入電の2,205.50ドルより5.50ドル安の2,200.00ドル。5営業日の続落で5.84%安。この週0.70%の下落。1月に入って5.80%の下落。3か月物の前場売値は、1月9日入電の2,253.00ドルより6.00ドル安の2,247.00ドル。6営業日の続落で5.67%安。この週0.71%の下落。1月に入って5.67%の下落。LME公認倉庫の現地1月8日アルミ在庫は、5日の56万9,100トンより万3,825トン減の56万5,275トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月9日入電より横ばいの1,785.00ドル。この週横ばい。1月に入って15.16%の上伸。3か月物の前場売値も、1月9日入電より横ばいの1,785.00ドル。この週横ばい。1月に入って15.16%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月9日入電より横ばいの2,285.00ドル。この週横ばい。1月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、1月9日入電より横ばいの2,285.00ドル。この週横ばい。1月に入って横ばい。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月9日入電の1万5,930.00ドルより220.00ドル高の1万6,150.00ドル。2営業日の続伸で2.83%高。この週2.83%の上伸。1月に入って0.92%の下落。3か月物の前場売値は、1月9日入電の1万6,200.00ドルより120.00ドル高の1万6,320.00ドル。2営業日の続伸で2.10%高。この週2.10%の上伸。1月に入って1.51%の下落。LME公認倉庫の現地1月8日ニッケル在庫は、5日の6万4,896トンより3,558トン増の6万8,454トン。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME公示価格(US\$)／1月9日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,301.50	24,300.00	2,033.00	2,503.00	2,200.00	1,785.00	2,285.00	16,150.00
	前営業日比	6.50	▲ 100.00	3.00	17.00	▲ 5.50	0.00	0.00	220.00
先物	公示価格	8,407.50	24,485.00	2,067.00	2,528.00	2,247.00	1,785.00	2,285.00	16,320.00
	前営業日比	5.00	▲ 115.00	6.00	16.00	▲ 6.00	0.00	0.00	120.00

海外非鉄金属相場

(1月10日 入電・現地 1月9日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 銅 A G, 前場, 後場. Rows: 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 錫 H G, 前場, 後場. Rows: 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 鉛, 前場, 後場. Rows: 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 亜鉛 S H G, 前場, 後場. Rows: 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: アルミ H G, 前場, 後場. Rows: 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: アルミ合金, 前場, 後場. Rows: 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 北米特殊アルミ合金, 前場, 後場. Rows: 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: ニッケル, 前場, 後場. Rows: 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NY コメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 1月限, 2月限, 3月限, 4月限, 5月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: 為替相場, LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: ドル・円, T T S, 145.69, +0.71.

フリー・マーケット

Table with columns: 米国生産者価格 (地金), 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

Table with columns: NY相場, 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

Table with columns: ロンドン相場 (ドル), 金 (オンス), アンチモン99.65% (トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド).

Table with columns: K L T M 錫 (MYR/KG, 出来高トン), (9日), (10日), 相場, 出来高, ドル建て価格, O Dレート, M \$ / U S \$ レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

Table with columns: LME 在庫 (トン), 在 庫, 増 減, (1/8現在), 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table with columns: 上海在庫 (トン), 在 庫, 増 減, (1/5 現在), 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table with columns: LME プレマーケット (ドル), 先物気配, (1/10), (3:00AM現地), 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: 上海相場, トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル, 1月限, 2月限, 前日比, 出来高.

※10日のKLTMは入電がありません

非鉄金属製品相場

(1月10日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛垂鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	◆1590	1585	垂鉛板0.3×3×7	650	650	V V F	
建築用0.3ミリ	◆1640	1635	印刷用垂鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6	59~61
銅大板2×1×2	◆1720	1785	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0	104~107
銅管(ベース)	1770	1785	鉛板1.5ミリ	580	580	3C×1.6	109~112
水道用管(m当たり)13ミリ	1680	1695	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0	157~160
銅棒25ミリ	◆1500	1555	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	◆1555	1600	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	33.8~36
銅線0.9ミリ	◆1580	1615	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	92.7~98.6
銅帯6×50	◆1460	1555	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	231~245
銅平角線	◆1780	1785	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	◆1295	1305	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	1765~1876
〃 0.3ミリ	◆1325	1335	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	2722~2893
黄銅大板2×1×2	◆1445	1485	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	4570~4858
黄銅管	◆1940	1785	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	2867~3037
復水器用黄銅管	◆1910	1755	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4022~4260
黄銅棒快削25ミリ	◆1055	1065	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)	
六角棒	◆1085	1095	貴金属(一般小口向け)			3C×2	135~138
四角棒	◆1115	1125	白金(グラム)	◆4865		4C×2	181~185
鍛造用	◆1095	1105	パラジウム(グラム)	◆5236		6C×2	258~264
ネーバル	◆1195	1205	金(グラム)	◎10433		7C×2	296~303
高力	◆1195	1205	銀(キログラム)	◆120890		合金鉄 11月輸入単価(CIF)	
黄銅線6ミリ	◆1480	1485	レアメタル輸入価格 11月通関(CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有	158
黄銅平角線ロール仕上	◆1680	1695	金属ケイ素(99.99%未満)	345		〃 その他	193.9
黄銅条1.5×100	◆1290	1320	モリブデン酸化物	5530		フェロシリコン55%以上	237
リン青銅板一般用1.0ミリ	2920	3110	タンタル	97928		フェロクロム4%以上炭素含有	285
〃 バネ用0.3ミリ	3170	3370	マグネシウム	498		フェロモリブデン純分60%以上	5708
リン青銅棒25ミリ	3030	3240	コバルト	5354		フェロバナジウム	3184
リン青銅線3ミリ	3400	3610	インジウム	33625		フェロニッケル33%未満	562.6
洋白板一般用1.0ミリ	3630	3780				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3760	3930					

減摩合金	1月5日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	4485
2種	4365
3種	4235
4種	3770
5種	3540
7種	1415
8種	1260
9種	1105

銅合金地金	1月9日発表
(標準価格) 大阪	
BC 1種	◆1285
2種	◆1585
3種	◆1655
6種	◆1395
7種	◆1490
YBSC 3種	◆1130
LBC 3種	◎1585
PBC 2種	◆1685



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1240(10) 金 9,468(10)
 () 実施日 電気鉛 354(4) 銀 108,690(10)
 電気亜鉛 421(10) 錫(99.99%) 5,050(4)
 キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (1月10日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 40,000 ~ 45,000(1)

非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場
1トン以上外税持込					高値	安値
1号銅線	◆1106	◆1099	電気銅	◆1208	◆1203	◆1210 ◆1205
2号銅線	◆1064	—	電気亜鉛	◆393	◆387	◆393 ◆387
上銅(新切)	◆1077	◆1069	蒸留亜鉛	◆381	◆375	◆381 ◆375
雑ナゲット	◆944	◆943	再生ダイカスト亜鉛2種	◆329	◆323	◆329 ◆323
並銅	◆1019	◆1005	再生亜鉛(98%)	◆286	◆280	◆286 ◆280
下銅	◆1000	◆978	電気鉛	331	328	331 328
銅削粉	◆980	◆978	再生鉛1号	310	300	311 306
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	316	312	316 312
新切黄銅セバ	◆805	◆814	錫1号	3800	3750	3800 3750
コーベル	◆769	◆772	アンチモン	1850	1800	1850 1800
黄銅棒地	◆747	◆760	ニッケル(メッキ用)	2400	2350	2400 2350
黄銅削粉	◆741	◆756	コバルト	5300	5000	5300 5000
並黄銅	◆745	◆715	セレニウム	3800	3600	3800 3600
黄銅ラジエター	◆602	◆594	ビスマス	1550	1450	1550 1450
交叉ラジエター	◆693	◆666	カドミウム	850	800	850 800
黄銅鑄物	◆750	—	マグネシウム合金	480	460	480 460
山送り(55%)	410	—	アルミ地金99.70%	◎363	◎359	◎365 ◎361
上青銅鑄物	◆870	—	アルミ二次地金99%	328	323	328 323
並青銅鑄物	◆868	◆853	〃 90%	308	303	308 303
上青銅鑄物削粉	◆863	—	アルミ二次合金ADC12	421	416	424 419
並青銅鑄物削粉	◆853	◆838	鑄物用C2BS	446	441	448 443
新切リン青銅(仲間)	—	◆1098	青銅合金地金3種	◆1575	◆1565	◆1655 ◆1645
〃 (鑄物)	◆984	—	〃 6種	◆1325	◆1315	◆1345 ◆1335
リン青銅削粉	◆902	◆891	ハンダ錫60%	3010	2970	3030 3000
新切洋白(電子材)	◆914	◆898	〃 50%	2615	2565	2635 2605
新切亜鉛	◆257	◆257	〃 40%	2285	2225	2240 2210
ダイカストくず	170	170	減摩合金2種	4270	4240	4275 4245
亜鉛ドロス	150	155	〃 4種	3710	3685	3715 3685
上鉛	189	187	〃 7種	1360	1310	1360 1310
電池素鉛ケース込	80	80	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		55 60
活字鉛	169	166		〃 グライ粉		40 45
新切アルミ1級	238	247		高耐食ステンレスSUS316		185 185
新切サッシ1級	240	245		耐熱ステンレスSUS310		285 285
新切合金1級	230	230		13クローム 新切		28 29
機械鑄物1級	210	226		ハイス 9種		190 190
ビス付サッシP	222	220				
合金削粉P	165	165				
込ガラP	138	140				
カン・バラ	163	158				

